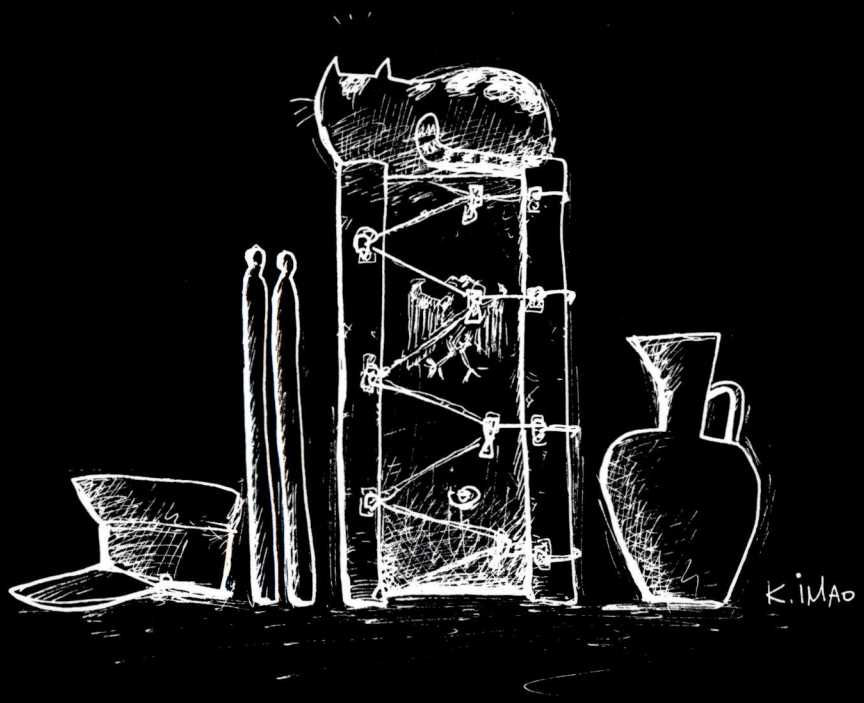
アマチュアオーケストラ

新交響楽団第134回演奏会

The New Symphony Orchestra The 134th Concert

指揮：フランシス・トラヴィス
ソプラノ独唱：橋爪 ゆか



Francis TRAVIS, Conductor HASHIZUME Yuka, Soprano

ベートーヴェン：「献堂式」序曲
Ludwig van BEETHOVEN: "Die Weihe des Hauses" Overture op.124

ベルク：歌劇「ヴォツェック」より3つの断章
Alban BERG: Drei Bruchstücke aus "WOZZECK" op.7

シューベルト：交響曲第9(8)番ハ長調
Franz SCHUBERT: Symphony No.9(8) "The Great" C-major op. posth.

1992 1.19(日) 2:00pm

Sun. January 19,1992, 2:00p.m. Shinjuku-bunka-center

新宿文化センター

入場料：S￥2,500　A￥2,000　B(自由席)￥1,500
チケットのお申し込み・お問い合わせ：コンサートサービス03(3263)3858
チケットのお申し込み：チケットぴあ03(5237)9990／チケットセゾン03(5990)9990　＊おそれいりますが未就学児の入場はお断りさせていただきます。

新響が初めてベルクを取り上げます。ベルクはシェーンベルクやヴェーベルンと並んで12音技法を確立した作曲家として知られていますが、今回演奏する「３つの断章」は、1921年に完成された３幕の歌劇「ヴォツェック」の中から指揮者ヘルマン・シェルヘンの勧めに従って作曲者自身が演奏会用として編んだものです。今回の演奏会の指揮者フランシス・トラヴィス氏がシェルヘンに指揮法を師事している縁もあって、氏がこの曲にかける意気込みは相当なもの。作品への深い理解にもとづく解釈が期待されるところです。

最後のプログラムは最近になって「第８番」と呼ばれることが多くなったもとの第７番、のちに第９番とされる大ハ長調（ザ・グレート）交響曲です。ライプツィヒで起きた殺人事件が題材になっている「暗いヴォツェック」から一転して今度はハ長調の終止和音がまぶしい曲。演奏者、聴衆ともに休憩時間での気分転換が不可欠です。序曲は日本ではあまり演奏されることの少ないベートーヴェンの佳品「献堂式」。どうぞお楽しみに。

フランシス・トラヴィス（指揮）

1921年米国デトロイト生れ（69年スイスに帰化）。48年よりヘルマン・シェルヘンに指揮法を学ぶ。その後スイス・チューリヒ大学で音楽学の博士号を取得。以後指揮者としてドイツ、イタリア、オランダ、ベルギー、スカンディナヴィアを中心に国際的な活動を始める。レパートリーはきわめて広く、特に現代音楽の解釈には定評がある。スイスの国際現代音楽協会会長もつとめ、現在までの初演曲は1000を超えている。90年より東京芸大の客員教授として来日しており、新響とは昨年131回に共演、スクリャービンの交響曲第２番他で好評を博した。

新響は団員を募集しています。

新交響楽団は会社員、教員、学生、主婦などなど、さまざまな職業・年齢にわたる団員で自主運営されているアマチュアオーケストラです。音楽監督の故・芥川也寸志氏が長年にわたって主張し続けてきた「音楽はみんなのもの」を実践し、常に新しい視点を持って活動していくために、あなたの力が必要です。何はともあれ、ぜひ一度練習をご覧になって下さい。いつでも歓迎です。連絡先：市川☎0425(62)4595　団費：入団費3,000円、団費月額4,000円。練習は毎週土曜午後６～９時、東京文化会館他にて。





STEINWAY & SONS®

伝統と手作りが生んだ
世界の逸品
スタインウェイ

日本総代理店　株式会社 松尾楽器商会

本　　社　東京都港区芝大門1丁目9番1号
〒105 ☎3436-4331（代）

関西営業所　神戸市中央区磯辺通2丁目2-10
〒651 ☎078－221－4071（代）

■美しいカタログを用意しております。機種名をご記入の上、お申し込みください。■お求めやすい長期ローンのお取り扱いをしております。ご利用ください。